

【外灯の作り方】



【使用する型紙#】

プラ板用 (④-1)
極薄ベニヤ用 (④-2、3、4)
パルサ板用 (④-5)

ウッドビーズと発泡スチロールは型紙を使わずに加工します。

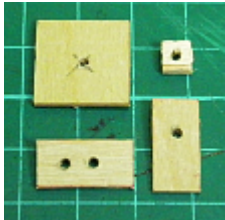
玄関に外灯をつけるといかに本物のハウスらしく見えます。

屋根の傾斜や削り方を変えてみると変化が出ます。窓部分はプラ板を曲げたのですが、窓の角部分に1ミリ角のヒノキ棒を貼ると重厚さも出てきます。

《使用する材料》 (☆はパーツキットに入っているもの、★は自分で用意するもの)

☆12V 用麦球	☆プラ板	★楊子
☆ウッドビーズ大または小	☆発泡スチロール	★ボンド
☆極薄ベニヤ	☆パルサ板	★塗料

(1)



極薄ベニヤとパルサ板をカットし、型紙に合わせて2ミリ孔を開けます。

(2)



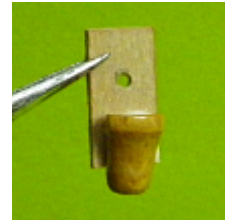
ウッドビーズ(大または小)をタテに2つ割ります。

(3)



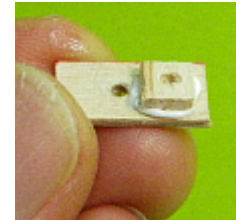
一方の左右を2ミリずつカットします。これは水平板の腕木となります。

(4)



背板の下部に(3)のウッドビーズを接着します。ビーズが下方にはみだしても構いません。

(5)



水平板に電球台を接着します。孔の位置を合わせて下さい(型紙④-3参照)。

(6)



(4)と(5)を接着します。水平板が水平になるよう、ビーズの上面を調整して下さい。

(7)



背板の下部は腕木の形に合わせて削ります。背板上部は好みの形に仕上げます。

(8)



(7)を黒く塗り、麦球のコードを電球台の孔に通します。コード根元のビニール部分は孔に入らなくても構いません。

(9)



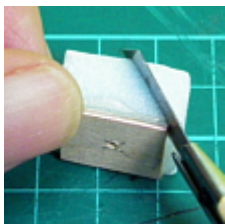
コードを今度は水平中央の孔を通して上に戻し、最後に背板の孔から後方に抜きます。

(10)



発泡スチロール(2センチ角)の中央に楊子を挿して天板に接着します。楊子を天板の孔に刺して位置を合わせます。

(11)



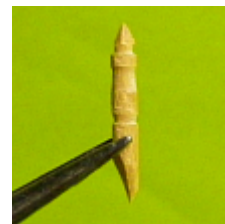
位置を合わせたら楊子を抜き、乾燥後発泡スチロールを削って屋根の形を作ります。

(12)



四方から均等に削ってピラミッドのような形にします。

(13)



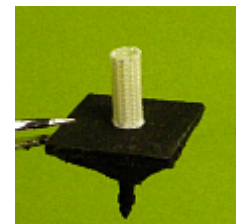
楊子の頭を適当に削って飾り棒を作ります。長さ1センチぐらいにカットします。

(14)



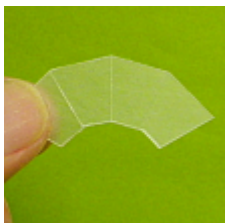
飾り棒を屋根の穴に接着し、乾いたら屋根全体を黒く塗ります。

(15)



耐熱チューブを1センチカットし、天板下面の中央に接着します。

(16) プラ板加工



プラ板を型紙通りにカットします。(基本技法■1参照)

(17)



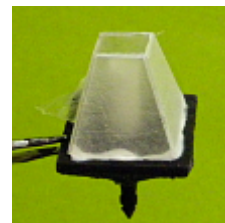
プラ板を折り曲げて火袋を作ります。セロテープで仮止しておきます。

(18)



火袋を電球台にはめてみます(接着しない)。入らないときは電球台を削って下さい。

(19)



火袋が電球台にはまることを確認したら火袋上端を天板の下面に接着します。

(20) 完成



(19)の乾燥後電球台にはめて完成です。12Vの電源につなぐと点灯します。